

2020.8.27 (木)
第 7 回例会
(通算 3601 回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「Together! 次世代へ共に築こうロータリー！」

第84代会長 舟木 博
副会長 土橋 賢一
幹事 荒井 剛
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2020-2021 年度
国際ロータリーテーマ



ロータリーは世界の扉を開く
2020-2021 年度
RI 会長 ホルガー・クナーク
第 2500 地区ガバナー
松田 英郎 (富良野 RC)

月間テーマ	会員増強・新クラブ結成推進月間
本日のプログラム	新入会員歓迎例会 (担当: クラブ研修委員会)
次週例会	講師例会「基礎から学ぶ LGBT マーケティング」(担当: プログラム委員会)

■ロータリーソング:「我等の生業」 ■ソングリーダー: 岩田 信一君

■会員数 99 名

■ビジター なし

■ゲスト なし

会長の時間

舟木 博会長



皆さん、こんにちは。今日は釧路の海外の姉妹都市について話させていただきますが、皆さんはいくつあるかご存じですか。

私の知る限りだと 5 つぐらいかと思っています。

まず、締結年の古い年から順にお話しさせていただきます。

1965 年 (昭和 40 年) 9 月 10 日に調印した、カナダのブリティッシュ・コロンビア州のバーナビーについてお話しいたします。経緯は昭和 38 年の駐日大使にバーナビー市を紹介していただきました。バーナビー市は、釧路と都市の規模、形態が類似しているということで、バーナビー市から申し込まれたようです。位置は、バンクーバー市から電車で 30 分ぐらいの地で、ベッドタウンとして発展しております。釧路市と姉妹提携した時の人口は約 11 万人と聞いております。現在の人口は倍以上になって急激な発展を遂げております。また車で数時間走るとアメリカのシアトル市まで行ける距離です。一度、夏にシアトルを訪問したことがございますが、釧路の夏とほとんど同じような気候条件で、凄く冷涼で涼しかった記憶がございます。

内地の人に釧路の夏を紹介する時には、「日本のシアトルだ」と言って宣伝をしております。日本のバー

ナビー市と言っても誰も理解をしていただけませんので、残念ながら言っておりません。バーナビー市とは、数年のブランクがありますが、断続的に長期間交流が維持されております。

次に、1975 年 (昭和 50 年) 10 月 10 日に調印された当時ソ連、サハリン州のホルムスクです。われわれ古い人間には、「樺太の真岡」と言った方が分かりやすい地名です。戦前の樺太には、昭和 16 年の国勢調査では約 40 万人の 406,557 名が住んでおりましたが、真岡管内に日本人は 46,557 名が住んでおりました。その他にロシア人・中国人を含めて日本人の出稼ぎの人間もおりましたので実際はもっと多かったと思います。

小樽から連絡船が開通していて港湾設備も非常に整っておりました。また鉄道も南樺太鉄道が通っていて、王子製紙の真岡工場だけでも従業員が 690 人ほどいたと聞いております。また蟹工場で有名な樺太産業真岡工場もここにありました。現在のホルムスクは、ロシア崩壊の後を受けて人口が激減し、20,000 人台後半まで落ち込んでいるようです。

ホルムスクは紙・パルプ・港湾を基幹産業とした釧路と非常に似た街ということです。また釧路には樺太の引揚者が少なくなく、ホルムスク在住の縁者もいたと聞いております。堀川町には市営住宅だと思えますけれども『樺太の引揚者住宅』があったことを思い出します。現在でもホルムスクとはバーナビー市同様に断続的な継続が続いております。

次は、アメリカ南部のニューオーリンズ州です。この街とは、1983年11月に姉妹港提携を結んでおります。関係は釧路西港に穀物保管サイロ・グレインエレベーターができ、それにニューオーリンズからの穀物運搬船の往来が始まったことが縁だと聞いております。ミシシッピ川の河口から上流域は世界の穀物メジャーの穀物の大集積地になっていて、ミシシッピ川の水運を使って、アメリカ中西部から大量の穀物を運んでおりました。ミシシッピ川はまさに運河であり、水深はとんでもなく深く、幅も広くて日本の川とは全く違うものでした。

日本からも全農グレイン社や商社が進出して大規模なサイロを保管しております。私も25年ほど前に見学に行ったことがあり、その規模の大きさに驚愕したことを覚えております。

またニューオーリンズ市は観光都市でもあり、カジノやミシシッピ川のクルーズ、ジャズで有名なバーボンストリートの生ライブ、郊外には映画『嵐が丘』のロケ地のフランチエーションの農園跡等の観光地も有名です。

釧路との交流ではやはりニューオーリンズのジャズバンドが記憶に残っております。釧路で5回ほど演奏会もしています。港まつりでの音楽パレードは最高でした。最近では残念ながらちょっと疎遠なっております。

港湾都市の2つ目では、ロシアのペトロパブロフスク・カムチャツキー市です。平成10年8月に釧路カムチャッカ研究会のチャーター機で市長が現地へ行き、協定を結んでおります。その頃の釧路の若手経済人は元気いっぱいでした。小船井パストガバナーも1枚絡んでいたような記憶をしております。

ここは、司馬遼太郎の小説の『菜の花の沖』で高田屋嘉兵衛が捕らえられていた場所と記憶していましたが、違いましたか。そうですか。最近はやっぱりやや疎遠ななっております。

最後になりますが、(オーストラリアの)ポートスティーブンス郡のハンター河口湿地は釧路湿原との姉妹湿地ということで、郡内には、ニューカッスル市、ポートスティーブンス市があり、両方とも姉妹都市として調印しております。

釧路とは、かの地から飛んでくる渡り鳥の「オオジシギ」との縁があり1993年(平成5年)5月に釧路で行われた「ラムサール条約」第5回締結国会議開催を通じて姉妹都市の提携につながっております。最近の交流は数年おきに割合断続的に行われています。

個人的な思い出では、両親と妻がまだ健在だった1999年に来釧した3名のゲストをわが家に招待して、楽しい夕食を共にしたことが良い思い出となっております。

本日は、個人的な感想を交えて話が長くなりましたが、ご静聴ありがとうございました。

新入会員紹介

スポンサー 天方 智順君



皆さん、こんばんは。北畑和博さんを紹介したいと思います。北畑和博さんは会社が丸博三輪工業株式会社の代表でいらっしゃいます。ご

家族は、奥様と娘さん1人ということで、既にお嫁に行った娘さんもいるのでお孫さんが1人と聞いております。

お生まれが、昭和42年の大晦日です。普通元旦生まれにするかと思ったら12月31日生まれで、潔い方だと思います。ゴルフはされません。麻雀はするようです。私はしたことありませんが。スポンサーは私と西村さんです。

個人的に20年ぐらいのお知り合いなので、長年お誘いしていたのですがやっと入会をしていただき嬉しく思っています。業界も一緒に、若くして同じ年に父を亡くしたものですから、お互いに励まし合って今まで来たと思います。いろいろな思い出がありますが、ロータリーと一緒に活動できるので、また楽しいことがあるかと思っています。

1つ特記事項として北畑さんは、蕎麦アレルギーです。例えば、親睦活動委員会で「蕎麦打ち例会」などをすると彼は呼吸ができなくなってしまいますので、どうか皆さんお気に止めておいてください。

それでは、北畑さんからお願いします。

新入会員挨拶

丸博三輪工業株式会社 北畑 和博代表取締役社長

こんばんは。ただいま天方さんよりご紹介いただきました北畑と申します。このたびは伝統と格式ある釧路ロータリークラブに入会させて



いただくことになりました。少しでも例会等に出席をして皆さまに名前と顔を覚えていただけるようにしますので、よろしくお願いいたします。

会長より新入会員へ歓迎挨拶 舟木 博会長

北畑さん、本日は入会おめでとうございます。転勤族の皆さまの入会が続いておりましたが久しぶりの地元のメンバーで、大変嬉しく思います。これから5年・10年・20年とロータリーの奉仕活動が続けていただけることを期待しております。

ロータリーは、まず例会に参加することが一番大切

だと思っております。例会への出席は義務ではなく権利と理解してください。このような素晴らしいメンバーとの出会いを人生の糧として、これから釧路で活躍されることを期待しております。

ちなみに北畑会員は親睦活動委員会の配属となっております。配属委員長は佐藤貴之君です。どうぞよろしくお願いいたします。

短い挨拶ですが、新入会員の歓迎挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

■本日のプログラム■ 新入会員歓迎例会

親睦活動委員会 佐藤 貴之委員長

皆さん、こんばんは。本日の総合司会を仰せつかりました親睦活動委員会の佐藤でございます。本日は、今日入会をされました。北畑和博君を合わせまして対象者10名が参加されております。皆さんまだまだ顔と名前が一致しない方もいるかと思うので、積極的に新入会員の皆さまにお声がけをしていただければと思います。

また本日、余興を準備しておりますが、盛り上がっていただくことは大変結構でございます。但し、大声を出す時は皆さまマスクの着用を忘れずにお願いしたいと思います。

それでは、開会の挨拶を行いたいと思います。開会の挨拶は、クラブ会報・会員組織委員会・清水輝彦委員長よりお願いいたします。

開会挨拶

クラブ会報・会員組織委員会 清水 輝彦委員長



皆さん、こんばんは。コロナ疲れ、大丈夫ですか。なぜこんな切り出しをするかというと、もう結構長くずっといろいろな自粛をしてきていて、多分気疲れになっていらっしゃると思います。私自身もちょっと「お疲れモード」という時もあるって、最近、クーッと寝ているとウチの奥さんがいつになく優しく寝かせてくれています。久しぶりに皆さんでこのように集まって、楽しいひとときを過ごせることをとても嬉しく思っております。今日は新しく入られた10名の会員を皆さんで歓迎し、密に気をつけながら楽しく、あまり大声を出さずにマスクを忘れずに、楽しく過ごせればと思っております。

新入会員の皆さま方、少しでもたくさん例会に出てひとりでも多くの方とお知り合いになって、楽しいロータリーライフを過ごしていただければと思います。

す。皆さん、お腹が空いていると思いますので、私の開会のお話はこのぐらいにして早速乾杯をしたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

乾杯挨拶

研修委員会 天方 智順君

たびたびすみません。邵さんと脇君がサボっているので私にお鉢が回ってまいりました。まず舟木会長、5番目の姉妹都市の国名を言っていません。オーストラリアですよね。後で議事録を書かれる方が困ると思いますので補足で申し上げております。

ちょっと節制がなくなって、コロナのせいでもないのですけど火曜日の夜から肩が拳がらなくなりました。『五十肩』でしょうか。ゴルフのラウンドの後に急に痛みが刺してきて、車の運転も少しおぼつかない。左にウィンカーがありますので、ウィンカーを出す時に痛いのです。いっぺん拳がると大丈夫ですけど、これはきっと五十肩だと思いますが、杖を付いて例会に来る人よりは良いかと思っております。

10名の新入会員の皆さんようこそ。ということで、今日、入会をされた北畑さんもいますけれど新しい仲間として、また新しい舟木年度が来月からの糧に、みんな楽しく過ごせますよう祈念いたしまして乾杯したいと思います。恐縮ですが、ご起立お願いいたします。

それでは、今日はよろしくお願いいたします。

「乾杯」

親睦活動委員会 佐藤 貴之委員長

ありがとうございました。それでは、ご歓談に移りたいと思います。

新入会員の皆さまには、後ほど3分程度のスピーチのお時間を用意しておりますので、よろしくお願いいたします。

新入会員スピーチ

(株)北洋銀行 釧路中央支店

常務執行役員 支店長 織田 亨君



皆さま、こんばんは。ただいまご紹介いただきました北洋銀行の織田と申します。よろしくお願いいたします。

ロータリーは、私は小樽から釧路へまいりまして、小樽ロータリーにも約2年間在籍をしておりました。小樽も非常に和気あいあい、本当にもうファミリー的な雰囲気です。やっていたけれども、同じようにこうやって温かく歓迎をし

ていただくことを大変ありがたく思っております。大変どうもありがとうございます。

4月に、ここ釧路に来まして、結構いろいろな所へ行きました。摩周湖へ行って、阿寒湖へ行って、納沙布行って、湿原は本当に涙が出るぐらい感動しました。霧多布岬も知床も行ってきました。そして、何度か足を運ぶと最近、自然を見てもあまり感動をしなくなってきた、これが当たり前だと思い始めて。皆さんに叱られるかも知れませんが、自分もちょっと釧路人に近づいて来たかと、勝手に思っております。

コロナでは、首都圏などは爆発的な状況でして、これから本当に北海道は凄く可能性のある街、所になると思います。北海道自体が本当にソーシャルディスタンス、広いですから。そんな中で、この東北道は凄く可能性がある所だと、本当にここへ来て思っています。

そういう意味では、例えば本州から来られる支店長・支社長様にお会いする機会があって、「この東北道は化けるぞ」と、「10年後・20年後には絶対に化けるぞ」と、「土地を買いなさい」というような話をしています。

皆さんもどうか可能性を信じて、もし土地を買うということであればぜひ、銀行は北洋銀行だけではなく、いろいろな銀行がございますけれども、お声がけをいただければと思っております。

今後ともよろしくお願いいたします。今日はどうもありがとうございます。

柴崎社会保険労務士事務所 所長 柴崎 主税君



改めまして、こんばんは。社会保険労務士をしております柴崎です。実は、今から25年ほど前に、まだ私の髪の毛がもっとあった頃

に、当時は太平洋炭鉱に務めておりました。

釧路ロータリーのお昼の例会を多分パシフィックホテルでやっていた頃かと思いますが、そこに太平洋炭鉱の社長がお話をするということで、鞆持ちで来た記憶がございます。経済界の大変立派な方々がいるところで、「ほー、こんなところがあるのだ」と思いながらいました。今、そこへ入れていただいて、お仲間させていただけることを嬉しく思っております。

いま、銀行の支店長の方から「釧路が素晴らしい」という話だったのですが、私の家では、酔って帰ってカーテンを開けると、庭に鹿が4頭ぐらいいるとか、キツネもいます。さらに先週は、玄関にスズメバチが巣を作っていました。福司の前にあるあのような感じスズ

メバチの巣がありまして、「隣の杉村宅ではなく、なぜウチにスズメバチの巣なのだ」ということで土橋さんをお願いしようと思ったら、「そんなことはできない」と言われまして、業者に頼んで駆除をした次第です。

コロナの影響で、夜の末広にも出られないので、家の近所や春採湖などを散策しながら、自然をちょっと楽しめるようになってきて、自分が歳をとってきたという不安を感じつつも、楽しんでいる毎日でございます。

あとは、今フットサルを月に2回ですけれどもやっております。MOOである若い30代の方が、LINEやフェイスブックで「フットサルをしたい人！」と声をかけて、1回500円払うと小学生から還暦間近の人まで誰でも参加できるということをやって、私も好きですから「すごく良い試みだ」と明日も参加する予定なのです。次回の例会には松葉杖をついて来ないようなくらいで、行くときに誓うのですよ。今日は走らないぞと、運動をしにいくのに走らないぞと、誓いながら行く自分いる。どのようなものかと思いながらも楽しんでやっております。

とりとめのない話でございましたけれども、以上でございます。よろしくお願いいたします。

北海道電力株式会社送配電カンパニー

釧路支店 支店長 米倉 幸泰君

こんばんは。ただいまご紹介に与りました北電ネットワークの米倉です。北電



といいますと、来月9月で丸2年になります2018年9月6日の『胆振東部地震』。これで北海道全域の停電ということで、本当に皆さまには大変なご不便とご迷惑をおかけしましたことを改めてお詫び申し上げます。その後、少し遅きに失したのですが、石狩湾のLNG発電所や北本連系設備などをしっかり増強して、再び同じことがないように取り組んでいますのでご理解のほどをお願いしたいと存じます。

ここから私ごとなのですが、私は3月にこちらに赴任いたしました。その後やはり、コロナの関係でなかなか末広の方へは出られないこともありまして、増健活動に励もうと週末にはジョギングをするようにしておりました。釧路市内には、川もあって、海もあって、湖もあって、丘もあることで、1回のコースで全て満喫できるそんな土地は北海道でもなかなかないと思って、個人的にはとても気に入っております。また、先週末は鶴居に出かけました。丘の上で後ろを振り返りますと赤茶けた噴煙を上げている山があって、あれは何だと調べると雌阿寒岳でした。調べたら

明治末期に釧路の尋常小学校の高学年の方が1週間の修学旅行で、徒歩で雌阿寒岳まで行き、登って帰って来られたと。距離にすると往復約200km、14歳～15歳の方が登られたことを目にして、これは登らなきゃいけないと決意して、土曜日の夜にホームックに行って熊の鈴を買い、日曜日の朝早く起きて日帰りで雌阿寒岳に行っていました。

ガイドには、本当に「初心者向け」と書いてあったけれども、ほぼ直登（ちょくとう）でした。2時間数分かかりましたけれども、本当に足にもかなり来ました。頂上付近ではものすごく雄大な景色がありました。火口も複数ありまして、本当に火口壁の1mぐらいの際でトラロープ（標識ロープ）があるだけで、ちょっとフラフラっとなると落ちてしまうのではないかと、そういうリスクもあるスリリングな体験をさせていただきました。

そういった意味で個人的には釧路の自然、道東の雄大な自然をこの半年でかなり満喫させていただいておりますので、また今後ともいろいろな情報を元に釧路の滞在をぜひエンジョイしていきたいと考えてございます。引き続き今後ともよろしくお願いいたします。

サントリービバレッジサービス株式会社

釧路支店 支店長 田内 康章君

皆さま、こんばんは。私は36歳で、最年少ということで仰せつかっております、4月から釧路という地に単身赴任でまいりまして、7



月からこの由緒正しきロータリークラブに入会をさせていただきました。私みたいな若輩者に皆さんとても優しく温かく接していただきまして、本当にこの会に入ってから良かったと今でも感じております。

暖かいということでは、釧路は凄く涼しいと聞いていましたけれども、今のこの暑さというか、残暑といえますか、ナメてかかれぬ暑さだと改めて思いました。皆さんの会社などでも熱中症の対策をされていると思いますけれども、わがサントリーでも熱中症の飲料がありますので、もしなにかありましたらお声がけいただければありがたいと思っております。

いまはコロナの時期でもありますので、3密を避けるようにと会社からも言われているのですが、皆さまはとても優しい方たちばかりなので、心だけは密にお付き合いさせていただければと思っております。何卒よろしくお願いいたします。

北海道旅客鉄道株式会社 釧路支社

支社長 山田 浩司君

J R北海道釧路支社長をしています山田といいます。6月から釧路支社長をしています。先般、小野寺さんが鉄道のことをたくさん話して



いただきまして、ありがとうございます。J R北海道もご利用いただきましてありがとうございます。その中で『鉄分』の話があったと思いますけれど、私は鉄道会社なので鉄分はすごく少ないのです。J Rに入社する時に「あまり鉄分が多いと入社できない」という話もありました。というのは、あまり『鉄道愛』が強過ぎると趣味の方に走ってしまうので利益を度外視してしまうということもありましたので、それでJ R北海道に入社できたのかという気もするのです。ただそのように、鉄分が多い方に支えられて当社もやっています。私は広報部長を5年ぐらい前にやっていた、その話の中にもあった鉄分の多い方との戦い、小野寺さんはそのようなことはないと思いますけれど、とても過激な方は線路の中に入ってきて写真を撮る方もたくさんいらっしゃいますので、広報の時はそういった方々とお付き合いをしながら仕事をしていました。

今は人の移動がコロナの関係で自粛ムードになっていて、当社の鉄道も利用がすごく減っています。ただ、今週末から東急電鉄さんの『ザ ロイヤルエクスプレス』がこのエリアを含めて運行します。残念ながらJ R北海道の運行ではないのですが、非常に豪華な列車で最低でも68万円する列車に8倍の応募があったという人気の列車になっています。私も少しだけ支社長という立場を利用して乗せていただきましたけれど、窓枠も木の枠になっていて、走る景色の中で画が動いていくような、その中で生のバイオリンの演奏があって、ということで、これは68万円を払っても乗る人がいることも分からなくはなく、東急さんの担当者にも聞いて、こんな景色を運行できる乗務員もすごくモチベーションが上がっていて、来年も運転をします。これはJ R北海道ではありませんけれど小野寺さんも乗っていただければと思います。ぜひJ R北海道もまだ正式には言っていないのですが、この秋に「多目的車両」といって定期列車にも使えて観光列車も運行できる列車を釧路にも持って来られるように調整をしています。ぜひそういった観光列車の新しい車両も作りながら、皆さんにもご乗車いただきながら、ご協力いただきながらJ R北海道も事業を進めていきたいと思っています。これから皆さんにもそのような機会を作っていただければいいなと思っていますのでどうぞよろしくお願いいたします。

日本生命保険相互会社 道東支社

支社長 廣部 雅資君



皆さん、改めてましてこんばんは。日本生命保険相互会社道東支社長で3月末に赴任いたしました廣部と申します。思い返して見ますと、3月に赴任した時にはもう既にコロナの渦が来ておりまして、なかなか外に飲みに行けない。会社に行ってもコミュニケーションを取るノコミュニケーションも全くできない中で札幌から赴任したのです。

この道東のこの釧路でやっぱり1人で、家で宅飲みをしていたのが3月・4月・5月であったと思います。私はMOOの近くの錦町に住んでおりますので、少し車で走ればすぐ海がある所です。釣り具センターで安い釣り具を買って、そして餌を付けて投げるとヌマガレイが釣れます。包丁を1本持っていたので、その包丁で見様見真似でヌマガレイをさばいてお刺身にしたらメチャクチャ旨かったです。多分、皆さんはあまり食べないと思いますけれども、それに味をしめて、ネットで包丁を新たに割と良いものを購入しました。そういった形でいろいろな料理にも挑戦をしているのがいまの状況です。先週は浜中から船に乗って霧多布沖の方まで、部下を無理矢理連れて釣りに行ってまいりました。タラ・アオゾイ・ヤナギノマイ・サバが釣れて、とりわけアオゾイは初めてで、本州の方では多分出回っていない魚だと思うので食べたらムチャクチャ旨くて、本当にこんな魚があるのかと思ったことが今回の釣りでした。ぜひともこれからも道東ならではの楽しい出来事や遊びをやって行きたいと思っています。最近考えていることは、今日、根室の方に仕事で行っていたのですが、帰ってくる時の景色などを見たり、野生動物を見ていると、これは記録として残しておきたいと思って、これから道東支社で、いろいろな野生動物を撮れるようにカメラも買いながら、ゴルフ・釣りにカメラと、鉄道にはあまり乗らないと思いますけれども、いろいろなことにチャレンジをしながらこの釧路で楽しんで行きたいと思っています。

半年が経ちまして、自分でもちょっとなにを考えているのか分からないのですが、よく不動産情報をネットで見たりにしています。シラルト口湖の近くに温泉付きの家があって、これはすごく良いとか、ここを更地にしたらすごく良いとか、自分がどっちの方向に行っているのか分からない状況になってまいりましたが、本業は日本生命ですので、皆さんにご安心も与えながら自分自身も楽しんで、この釧路を過ごしていきたいと思っています。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

株式会社NTTドコモ 釧路支店

支店長 吉岡 央君



皆さん、こんばんは。7月に着任いたしましたNTTドコモの吉岡と申します。よろしくお願いいたします。7月に来て2カ月ぐらい経ちまして、ようやく釧路のこともいろいろ分かってまいりました。「なにが」と言われると難しいのですが、釧路という街がすごく良いと思ひまして、すごく好きな街と思っています。

私は函館市の出身なもので函館と釧路はすごく似ていると思っているのですが、どう考えてもやっぱり釧路の方が良くてすごく良い街だと思っています。

ゴルフが趣味だとお話をさせていただいたおかげで、こちらにいらっしゃるいろいろな方にもゴルフに誘っていただいて、非常に良くしていただいております。いろいろ釧路が好きだと言っているものですから、なにか釧路に恩返しをしたいと思って毎日考えながら過ごしております。私どもの会社は在宅勤務が本当に主流になってきておりまして、もう働く場所はどこでも構わないというような状況になってきています。ちょっとケチな話なのですが、通勤費といわれる通勤手当はもう出ないことになってしまいました。結局、会社として働く場所は問わないという状況になっております。それであれば、夏の釧路は素晴らしいので東京の皆さんには釧路にどんどん来ていただいて、ここで勤務をしていただければいいのではないかと会社の方にも声を挙げております。

個人的なお話をさせていただきますと、NTTドコモは皆さんご存じかも知れませんが「ドコモショップ」というショップをいくつか運営しております。ショップのスタッフに若い人が多い状況になっていきます。いまドコモショップの若い釧路スタッフの間でダイエットのボクシングが流行っておりまして、「支店長、ダイエットのためにぜひ来てください」ということで、無理矢理に私も入会させられてボクシングをやらされているのです。行ってみると、全くダイエットではなく自分の半分ぐらいの歳の若い方々に毎日ボコボコに殴られている状況です。やられ過ぎてケガをして、ロータリー活動に支障が出ないように気をつけながらこれからも頑張っていきたいと思ひしておりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。本日はありがとうございます。

株式会社北海道新聞社 釧路支社

支社長 竹村 康治君

皆さん、こんばんは。北海道新聞釧路支社の竹村と申します。私は6月末に釧路の方に札幌からまいりました。ちょうど札幌が、コロナ感



染者が急増している頃です。最初の頃は慎重にしていました。末広にも2週間出ないようにして、寂しく過ごしていました。先週ぐらいで根管内も含めてようやく全部行けまして、少しホッとしております。

例年この時期というのはいろいろな会合、催しやスポーツ大会等々がありまして、土日はほとんどイベントに出ることが私の仕事だったのですけれども、今年はすっかりなくなりました。今日も会社を出て来る時に、後輩の社員に「支社長、暇で良いですね」と言われました。当たっていてそのとおりでなにも言えませんでしたけれど、そういう状況でちょっと寂しい夏を過ごしています。

私は北海道新聞では編集畑でずっと来ていました。取材記者もそうですけれど、「今日はどのニュースをトップにしようか」や「この記事使おうか、止めようか」というそのような編集部門の方にも結構長くいました。それで外勤では、道内だけ回ってまして、北見や旭川に行きましたけど、私が一番印象に残っている支局は、ウチでいうと警察の駐在みたいな所で1人か2人で勤務をするランチがあるのですけれども、その勤務が3カ所あり結構それが面白かったです。今もお付き合いをしている方が何人もいらっしゃって、濃厚接触ではないですけれど、本当に密な付き合いをして非常に面白い思い出がたくさんあります。

私の趣味は山歩きと最近は温泉にハマっていますけれども、釧路に来て先日、釧路新聞の社長から記事の分厚いコピーをいただきました。釧路新聞が10年以上前になると思いますけれど、社長自ら取材をして歩いた『釧路温泉三昧』という連載企画がありまして、なんとこれが100回以上続いています。いや、すごい、なぜウチの新聞にそういう連載がないのかと思って残念でしたけれど。それをもらい、もう当然なくなっている温泉もありますけれども、社長推薦の温泉をいくつか紹介してもらって、これからこのコロナに利用して土日に回ろうと思っています。なにか遊んでばかりいるようですが、私も一応仕事をしたいと思っていますので、お役に立つことがあれば遠慮なくおっしゃってください。よろしくお願いいたします。

NHK釧路放送局 局長 小野 正晴君



NHKの小野でございます。よろしくお願いいたします。先週のお昼にもこの場で話させていただいて、もうあまり話すことがないので

す。私、先週も申しましたとおり元々記者出身なのですけれどこの間、話を聞いていただいて分かるかと思うのですが話が下手で。

いまをさかのぼること25年ぐらい前のこと。いまは弊社を離れた池上彰さんは社会部の先輩なのです。社会部の新しいメンバーを迎える歓迎会みたいな場があったとき、私は当てられて壇に出て喋る予定はなかったのですけれど、司会をやっていた同期が「時間が余ったので、ちょっとおの先輩、喋ってください」みたいな感じで壇に上がらされたら、僕は何も喋られなくてシドロモドロになってしまいました。池上さんが出てきて、マイクを奪って「今年社会部に上がってきた諸君、小野先輩のようになってはいけない」というようなことを言われて、そのような経験がありました。

喋りが下手なエピソードとしては、実は私、7～8年前にラジオのニュース番組に1年間出演をしていたことがあったのです。いま、ラジオ第1放送でやっている『NHKジャーナル』夜10時からの番組なのですが、そこで「ニュースデスクの小野さん」などと話しかけられて、ニュースを解説するような役目だったのですけれど、これが、僕は何度も舌を噛んだりして下手で、視聴者の方から苦情が来たことがありましたので、このような場で喋ることが大の苦手であります。というように前置きが長くなったのですが、先週、私は趣味でゴルフや麻雀もできない、つまらない人間で、一方で、たまたま書くことがなかったので「シャーロック・ホームズ」なんて書いたら、先週は紹介していただいて。ところが喋るほどなにかシャーロック・ホームズのネタを持っているわけではなくて、日本シャーロック・ホームズクラブには誰でも4,000円を払えばクラブ員として参加できるクラブなのですが、シャーロック・ホームズは結構ある意味翻訳家の方などオタク世界で、いろいろなホームズは実在していたという想定の下にいろいろと研究をしている人たちがいて、そこで本を書いている人たちもたくさんいます。そういう方々とは全く違って私は、単にそういう人たちの話を聞いて夜、飲み会に参加しているくらいの会員でしたので、あまりホームズのことには触れていただきたくないという感じであります。

先ほど、山田支社長様から鉄道の話がありました。私も先週、早速「湿原ノロッコ号」に乗ってきました。

まだ釧路に来て3週間ですけれど、結構あちこちマイカーで走ったり、湿原ノロッコ号に乗って、自然は大好きで楽しんだりしております。先ほどからも雌阿寒岳に登られたとか、山歩きが好きだとおっしゃられた方々がおりましたけれども、私も自然が大好きで学生の時に北海道へ来たときは、まだ体力もあったので羅臼岳や利尻岳などを登ったりしました。こちらへ来ましたら、またいろいろと山歩きなどもぜひやりたいと思っていますので、そのような機会ありましたらぜひお誘いいただければと思います。

本当に、皆さんのお役に立てたらと思いますので、なにかありましたらなんでも言っていただければと思います。よろしくお願いいたします。

(余興)

親睦活動委員会 委員長 佐藤 貴之 会員

そろそろお時間となりました。ここで恒例の『手に手つないで』を歌いたいと思います。本日も『エアー・手に手』で手はつながらずをお願いします。

本日のソングリーダーは出席された新入会員 10 名の皆さままでソングリーダーを行っていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

「手に手つないで」

中締め挨拶 杉村 莊平会長エレクト

改めまして、こんばんは。エレクトの杉村でございます。以後、よろしくお願いいたします。まずは親睦委員会の皆さん、今日は楽しい例会をありがとうございました。なんと言っても転勤族の皆さん

を含めて本当に高い出席率で臨んでいただき、多分、佐藤委員長が一生懸命お声がけをさせていただいた成果だと思います。本当にありがとうございました。

さて、皆さん経験があると思いますが、20 歳ぐらいを過ぎるとテレビで見ていた高校野球の人たちやお相撲の人たちが段々年下になって、びっくりするようなことがあると思います。ロータリーも 50 歳半ばを過ぎてくると大企業の支店長さんたちが、まだまだ上だと思っていた人たちが、今日例会を見ていると僕と同世代・年下になっていくわけです。自分が歳を重ねていることが分かるわけなのです。

改めて今日、例会を見ながらぼくらの世代が、転勤族の皆さんがもっとロータリーに親しめるように先頭に立って、率先してこの素晴らしい出会いを大きくしていく責任があるとつくづく眺めておりました。

さて、締めになります。このコロナで思うことがあります。強いて学ぶことがあるとすれば、今まで、たいしたことはない、当たり前にあると思っていたことが、実は「大切に、お互いに大事なことだった」ということに気づいたことだと思います。

昨年の天方年度で、ロータリーの例会がなくなって『ロータリーロス』にすごく心が痛んだ方がいっぱいいるかと思います。ですから今日、この新しい仲間をわれわれは迎え入れて、またこのロータリーを始めるにあたって、改めてこの素晴らしい釧路クラブにいられる喜びをみんなで存分に分かち合っ中締めしたいと思います。よろしいでございましょうか。

ということでお立ちいただきながら、全員でこの釧路ロータリーにいられる喜びを分かち合いながら、三本で締めたいと思います。よろしいでございましょうか。

